愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	地域ファイナンス論		
担当者(Instructors)	岩本 光一郎	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本講義では地域金融の現状と課題について考える。地方銀行や信用金庫などからなる地域金融機関は、都市銀行等に比して地域経済との結びつきが強く、地元の中小企業や家計に向けた金融サービスの供給者として重要な役割を果たしていると自負してきた。しかし今日において彼らは、政府や利用者の厳しい目にさらされつつ、大手銀行等との競争に直面しており、その経営環境は激変していると言わざるを得ない。このような状況下における地域金融機関の存在意義と役割、地域金融における適切な金融行政や金融システムのあり方について、学生諸君と共に考察してゆきたい。 なお、質問等の受付については、授業内に指示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義はパワーポイント資料の解説と黒板への板書を併用する形式で進行する。期末試験はもちろん、ときおり課す持ち帰り課題や講義内小テストなどで必要になるので、板書内容についてはしっかりノートやメモを取ることを求める（なお、分量はかなり多い）。 ※月に一回程度、リモート講義を行う予定

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	講義の概要について解説する	□
第2回	コミュニティ・バンクとは	地域金融機関という概念について解説する	□
第3回	地方銀行について	地域金融機関のうち、地方銀行について解説する	□
第4回	信用金庫と信用組合について	地域金融機関のうち、信用金庫と信用組合について解説する	□
第5回	その他の協同組織金融機関について	農漁協や労働金庫など、信金・信組以外の協同組織金融機関について解説する	□
第6回	都市銀行について	地域金融機関と対極的な存在である都市銀行について解説する	□
第7回	流通業と銀行業の融合	2000年代以降進展している銀行業と流通業の業態融合について解説する	□
第8回	金融機関の再編	バブル崩壊、金利自由化で大きく変わった金融業界について解説する	□
第9回	自己資本規制：BIS規制とは	金融再編のきっかけの一つである自己資本規制について解説する	□
第10回	不良債権について	バブル崩壊以降の日本の金融機関の宿痾である不良債権問題について解説する	□
第11回	リレーションシップ・バンキング 1：基礎概念	地域金融機関としての在り方を端的に示す一面として、リレーションシップ・バンキングという概念について解説する	□
第12回	リレーションシップ・バンキング 2：顧客企業との関係性	資金の出し手の金融機関と資金の受け手の企業の両方が満足する関係性は何かを考察する	□
第13回	リレーションシップ・バンキングとトランザクション・バンキング	リレバンに加えてトラバンの概念について解説し、両者の相違点を考察する	□
第14回	新しい金融手法の考察	地域再生ファンドやクラウドファンディング等、地域金融に関わる新しい概念について解説する	□
第15回	総括	ここまでの講義のまとめ	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習としては、参考図書1～3の該当箇所に目を通し、身近な金融機関（地方銀行や信用金庫）のホームページなどを折に触れて閲覧しておくことを推奨する（2時間程度）。事後学習としては、ノート・メモの内容を点検して不明箇所の有無を確認し、書籍やインターネットで必要な知識を補完したり、次回講義時に講師に質問するなどして、常にノート・メモをアップデートしておくことを推奨する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
課題（ミニレポートや練習問題）の出題意図と回答例については、次回講義の冒頭において解説する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	地域金融システムの構造を理解した上で、激変する地域社会における地域金融機関の今後、あるべき役割について自分の意見を発信できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
60%			10%	30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

・その他の中身は講義で課されるミニレポートや練習問題である。
・上記は合否に関する評価基準である（グレードについては基本的に筆記試験の結果を反映する）。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	堀江康熙『地域金融機関の経営行動』勁草書房	
2	家森信善 編著『地方創生のための地域金融機関の役割』中央経済社	
3	野崎浩成『消える地銀 生き残る地銀』日本経済新聞出版	
4		
5		